

令和8年度 ICT研修会（校内学習会）

8月26日(水)に神奈川県立あおば支援学校総括教諭の山田寛子先生を講師にお呼びし、「いろいろなICT機器を使ってやってみよう」というテーマで、電子黒板の利用方法や子どもたちの学習に活用できるアプリの紹介をしていただきました。

「MIRAI NOTE」で書いた手書きの文字を瞬時に整える機能、「Chrome Music Lab」で描画をして音を出す機能など、個に応じ工夫することで、いろいろな子どもたちに活用できることを学びました。

また、8月28日(金)には神奈川県立三ツ境支援学校教諭の和久田高之先生を講師にお呼びし、『「子どものできた！」を支えるICT活用について～肢体不自由児のコミュニケーション支援を中心に～」というテーマでお話いただきました。

ICT活用はすべての子どもに共通する視点と個の視点の両方を考えていくこと、実態把握は素因数分解(条件を要素に分解し一つずつ変化させる)ことなど大切であることを学びました。「活動の成立＝できた」で意思表示させていないか、子どもの「できた」とは何かなどを日々の実践を振り返り考える貴重な機会となりました。

今回の研修で学んだことを日々の教育活動に生かし、ICT活用をする中で子どもたちの豊かで主体的な学びを支え、これまで見えなかった“できる”“伝えたい”を見つけたいと思います。



8月26日「いろいろなICT機器を使ってやってみよう」



8月28日『「子どものできた！」を支えるICT活用について～肢体不自由児のコミュニケーション支援を中心に～」